
雨降ったら、傘持ってったるわ。

杜栄

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

雨降ったら、傘持ってたるわ。

【Nコード】

N2853Z

【作者名】

杜栄

【あらすじ】

兄：慶一 と弟：光ひかりの切ない兄弟愛を書いています。

よければ…お目汚しにならなければ…ぜひご覧ください。

俺とあいつは、一言で言うとな仲。
いや、不仲と言ってもまさか殴り合いの喧嘩をするわけでもない。
なんだろう……とりあえず、あいつが俺を「兄貴」と呼ぼうとも、な
んの感情も湧かないのだ。

昼下がりの路地裏の古びた喫茶店…
そこが俺の仕事場。

昼下がりの路地裏の古びた喫茶店…しかもなぜか人間一人いない土
地で、よく「やっていけるのか。」という冷やかしを、通りすがり
の人間に投げかけられる。

確かに。それ、正論。

だいたい、こんな最悪の立地条件に客商売を始めようとしたマスタ
ーに疑問を感じる。

もはや勇者レベルの決断。

しかしそんな勇者レベルのマスターのもとに、よく常連は「天使が
来た。」という。

週3でバイトに来ている、女子大生の愛ちゃんの事だ。

愛ちゃんは、彼女が高校入学の頃から店で働いている。

しかし俺には、なぜ愛ちゃんがこんな古びた喫茶店で働き続けるの
か、いまいちわからない。もっと時給がよく魅力的な店はあるだろ
うに。

愛ちゃんに聞くと、いつもそのアイドルのような笑顔で、「落ち着

くんです。働きたいから働いているんですよ?」と言い、「慶一さんはどうしてこのお店で働き続けるんですか?」と聞いてくる。それは俺にも全くわからない。変な愛着でもあるのだろうか。

なぜ愛ちゃんがこの店の天使かというと…

愛ちゃん狙いでこの店に来る常連…つまり愛ちゃんファンが少なからず存在するからだ、と俺は思っている。

なんたって、愛ちゃんが出勤している日は例え客足が極端に少ない夜の7時くらいでも、まず客足が途絶えることはない。

しかし、他の曜日は閑古鳥も鳴けないほどにさびれてしまうようだ。

きつと、この店は愛ちゃんに救われていて… まずマスターも変なかぶり物をする前にそこに留意し、感謝することが必要だと、俺は遠まわしに言い続けているがその気配は一向にないようだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2853z/>

雨降ったら、傘持ってたるわ。

2011年12月10日01時54分発行